

地域プラットフォーム導入の目的

富山市においては、PPP/PFI導入の必要性は高まっているものの、現状、富山市におけるPPP/PFI手法を活用した案件は、まだ多くはない。地域でのPPP/PFIに対する認識の共有とノウハウの蓄積、そして継続的な案件形成を目指すためには、官民双方の知識習得と相互理解を推進する必要がある。そのため、富山市において課題を解消するという目的を実践するための場として、地域プラットフォームを形成することとする。

背景・課題と対応策

①市の背景・課題(PPP/PFIに取り組む理由)

- 人口減少や超高齢化により、一段と財政状況が厳しくなると予想されており、公共施設の更新や管理運営を円滑に進めていくためには、民間のノウハウや資金を最大限活用しながら、公共施設をマネジメントすることが必要不可欠である。
- 公共施設等総合管理計画及びPPP/PFI優先的検討規定を整備し、より効率的・効果的な公共施設マネジメントを行うため、PPP/PFI活用に向けて積極的な取り組みを推進中である。

②PPP/PFIに取り組む上での課題(地域PFを実施する理由)

富山市では、これまで学校整備でのPFI事業や、学校跡地の定期借地権設定によるPPPを活用した施設整備事業を実施してきたが、対象は学校施設に偏重しており、PPP等の全市的な推進は十分に行われてこなかった。

- 官側のPPP/PFI推進の必要性や仕組みへの全庁的な理解の不足
- 地域事業者のPPP/PFIに関する知識・ノウハウの不足
- PPP/PFIに関する官民の相互理解の不足
- 官民、民間のネットワークの不足
- 案件形成機能の不足
- 継続的な案件形成のための官民双方での広域的なPPP/PFIへの取り組みの不足

③課題解決(②に挙げた課題)のための具体的な実施項目

目的	具体的な実施項目
1) 官側のPPP/PFI推進の必要性や仕組みへの理解の向上	ア) PPP/PFIの推進の必要性や有効性への理解を深めるためのセミナー等の開催 イ) より具体的なノウハウを向上させるための勉強会の開催
2) 地域企業のPPP/PFIに関する知識・ノウハウの向上	ア) 民側のPPP/PFIに取り組むためのノウハウ向上のためのセミナー開催 イ) より具体的なノウハウを向上させるための勉強会の開催
3) PPP/PFIに関する官民の相互理解の向上	ア) PPP/PFIに関する官民の考え方を知る機会の創出 イ) 官民対話の場の創出
4) 官民間、民間間のネットワークの構築	ア) 官民間、民間間のネットワーク構築の機会の創出
5) 官側における案件形成機能の強化	ア) 官側のPPP/PFIの推進の必要性や有効性への理解を深めるためのセミナー等の開催 イ) 官民対話の場の創出
6) 官民双方における広域化の取り組み	ア) 地域プラットフォームの広域化のための取り組み

④具体的な取組内容例

- ・公共施設等総合管理計画や優先的検討規程の策定を背景にしたPPP/PFIの推進の必要性への理解を深めるためのセミナー等の開催
- ・国の戦略、補助事業等の情報提供を行いPPP/PFIの機運を醸成するセミナーの開催
- ・官側の案件形成機能の強化のための先進地方公共団体の事例を学ぶセミナー等の開催
- ・PPP/PFI特有の事項に対する勉強会の実施
- ・地域企業の参画意欲形成のため、先進的地域事業者によるセミナー等の実施
- ・企画提案書や収支計画書の作成のための勉強会の実施
- ・ワークショップ・意見交換会・名刺交換会・交流会等の開催
- ・県内複数地方公共団体の地域プラットフォームの参加や意見聴取
- ・県内市町の具体案件についての意見交換・官民対話の実施
- ・県内複数地方公共団体によるバンドリング、複合化、集約化を図ったPPP/PFI案件の具体化

実施体制

<コアメンバーの特徴>

コアメンバー	特徴
富山市	PPP/PFIを積極的に進めていく地方公共団体
北陸財務局	県内の地方公共団体にネットワークを持つ
日本政策投資銀行	PPP/PFIの知見に富み、全国の地方公共団体や民間事業者、専門家にネットワークを持つ
北陸銀行	富山県全域でビジネスを展開し、県内の民間事業者や経済団体等と強いネットワークを持つ

具体の実施内容

第1回(平成28年11月28日)

【テーマ】
 PPP/PFIの活用について一緒に考えてみませんか

【内容】
 ■ 講演
 「PPP/PFI活用推進に向けた取組み」
 内閣府
 「PPP/PFIの概要」(株)日本政策投資銀行
 「地域におけるPPP/PFIの活用事例」
 (株)日本経済研究所
 「広島発【PPP/PFI】サクセスストーリー」
 (株)合人社計画研究所

【結果】
 PPP/PFIの活用の必要性、その手段としての地域プラットフォームの必要性、これらの民間企業への有用性についての理解。

第2回(平成29年1月26日)

【テーマ】
 PPP/PFIの活用について一緒に考えてみませんか

【内容】
 ■ 講演
 「富山市公共施設等総合管理計画について」富山市
 「PPP/PFI事業における官民対話やサウンディング調査の必要性」(株)日本経済研究所
 「横浜市における官民連携の取組み」横浜市
 「サウンディング調査参加からはじまる事業」三菱地所レジデンス(株)
 ■ 意見交換会
 「サウンディング調査について」
 ■ 富山市からのお知らせ
 「CICサウンディング調査」について

【結果】
 官民対話の先進事例と必要性、官民対話についての意見交換会の体験と必要性・有効性の確認、官民間・民間間の交流の機会。

第3回(平成29年2月21日)

【テーマ】
 PPP/PFIの活用について一緒に考えてみませんか

【内容】
 ■ 講演
 「官民連携による富山の発展」(株)日本総合研究所 藻谷浩介
 ■ パネルディスカッション
 「とやま型官民連携のすゝめ」

(富山市、富山商工会議所、日本政策投資銀行)

【結果】
 富山市におけるPPP/PFI活用推進が必要なことの再確認。

職員研修(平成29年2月14日)

【テーマ】
 PPP/PFIの活用について一緒に考えてみませんか

【内容】
 ■ 基調講演
 「PPP/PFIの活用はまったなし」富山市
 「PPP/PFI活用推進の要請」内閣府
 「公的資産マネジメント及びPPP/PFI活用の推進へ向けて」(株)日本政策投資銀行

【結果】
 富山市が一体となってPPP/PFIを推進するための職員の意識改革の必要性を確認、PPP/PFIの基礎知識を身につける必要性の確認

事業の成果

- 官側のPPP/PFI推進の必要性や仕組みへの理解の向上
- その手段としての地域プラットフォームの必要性の理解
- PPP/PFIの推進が民間企業へも有用であることの理解
- 官民対話の体験による必要性と有効性の確認
- 官民間・民間間のネットワークの交流の機会の創出

今後の活動計画

目的	ステップ1 (初動期)	ステップ2 (発展期)	ステップ3 (展開期)
目的1)	・講演会・セミナーの実施	・PPP/PFI特有の事項に関する勉強会の実施	・より具体的な事項に関する勉強会の実施
目的2)	・講演会・セミナーの実施	・企画提案書や収支計画書の作成のための勉強会の実施 ・PPP/PFI特有の事項に対する勉強会の実施	
目的3)	・官民対話に関するワークショップの実施	・具体的な事業についての官民対話の実施	
目的4)	・官民対話に関するワークショップの実施 ・名刺交換の推奨	・意見交換会や交流会を実施	
目的5)	・講演会・セミナーの実施	・官側の案件形成機能強化のための先進事例を学ぶ機会の実施 ・官側の案件形成プロセスの詳細を学ぶ機会の実施	
目的6)	・県内市町のプラットフォームへの参加・意見聴取	・県下の市町のプラットフォーム参加促進 ・県下の市町の事業例を元にした官民対話の実施	・複数の市町の事業の複合化、集約化等の検討